

「喝采が響きあい、地域から愛される学校」をめざします

大人がまず
幸せになり
ましよう!



「何のために学校があるのか?」と問われたら、私は「子どもたち自身が幸せになるため」と答えます。そして、子どもたちが幸せになるには、大人が幸せであることが大切だと考えます。

では、「幸せな学校」とは何でしょう?子どもたちそれぞれに幸せな学校のイメージは違うと思います。だからこそ、大人と子どもたちがともに語りながら、幸せな学校を探求する必要があります。「喝采が響きあい、地域から愛される学校」とは、子どもたちのそれぞれの幸せが形になった世界観なのです。

〈幸せの4つの因子〉

- やっぴや! (挑戦およろこび) ☆
- あつがとう! (人とつながる感謝)
- なんとかなる! (前向き・肯定的な考え)
- あつめ! (自分は自分でよいと認めらる安心)

大塚彩歌
さんの送辞で
語ってくれた
ことは
とても
大切に
まっ!



「金魚鉢の法則」から見えてくるもの

金魚は、飼育する金魚鉢の大きさによって体型が変わるそうです。「小さな金魚鉢では小さなまま。でも大きな金魚鉢へ入れると、大きく成長する。」これが「金魚鉢の法則」です。この法則は、金魚に限ったことではなく、人間にも当てはまるのではないのでしょうか。金魚鉢の大きさはその人自身の器の大きさなのです。器が大きければ大きいほど、目標が高ければ高いほど、人はそれに見合った成長を射すげると思うのです。WBCでMVPを獲得した大谷選手も、可能性を信じ、誰も想像すらしていなかった二刀流に挑戦し、成功したことはまさにこの法則通りだと思うのです。



金魚鉢の法則は、もう一つあります。金魚鉢に入れたばかりのときは、餌を与えるたびに餌に群がりますね。しかし、数日経過すると餌に反応しなくなるといいます。どうやら「いつでも好きな時に食べればいいや」と考え、だらしのない金魚になっていくそうです。しかし、別の金魚を加え、餌を与えると、新たに加わった金魚が、餌に飛びつく姿に影響され、だらしなくなっていた金魚まで餌に近寄ってくるそうです。「現在の環境に甘えたらだらしするな、満足するな」という教訓です。

教訓

- 4月は自分を変えるチャンス! でっかい夢に挑戦し続けよう!
- 今の環境に甘えず、新しい出会いから刺激をもらっちゃおう!

助けて
ください!!

本校では、給食時に「給食用のコンテナ」を運ぶ仕事をしてくださる方を探しています。時間は、12時から13時までのほぼ1時間ですが、季節や行事の有無によって多少時間を変更する場合があります。力を貸して下さる方がいらっしゃいましたら、ぜひ学校(66-2009)までお電話ください。

